

研究主題 学級経営の改善を図るための学級経営評価の在り方
— 学級経営評価シートとチーム検討会の工夫を通して —

教諭 仲田 郁夫

研究の概要及び索引語

学級経営において、学級経営評価を行い、学級の現状や課題を把握して、改善していくことは大切である。本研究では、学級経営評価に焦点をあて、学級経営評価シートとチーム検討会の工夫を通して学級経営評価を行い、成果や課題及び改善策を明確にした。これらの取組を通して、学級経営の改善を図るための学級経営評価の在り方を考察した。

索引語： 学級経営，学級経営評価，学級経営評価シート，チーム検討会，学級経営の改善

1 主題設定の理由

(1) 研究の指針

愛媛大学教授の太田佳光氏は『学級経営重要用語300の基礎知識』の中で、学級経営の評価の意義について「学級経営を進めていく中で、さまざまな課題や問題が生じてくる場合がある。あるいは、学級づくりが順調に進んでいけば、今、自分の学級がどのような段階にあるのかを知る必要もある。また、学級経営は、教師の主體的な取り組みによって進められるものであり、ややもすれば独善に陥る可能性をはらんでいる。こうした時、学級の現状を把握するために、学級経営の評価を行う必要がある。評価を基に、対処を講じたり新たな学級経営の見直しを行うことができる。」と述べている。このことから、学級経営の評価を行い、そこで得られた結果を積極的に活用して、以後の指導改善を図ることが重要であると考えられる。

(2) 本校教師の実態

表1に示した調査から、本校の担任教師のほとんどが、学級経営の評価と改善の必要性を感じているが、十分に行われていないことが分かる。また、評価

表1 学級経営の評価と改善に関する意識・実態調査
(平成20.10.10実施 担任教師18人)

質問内容	はい	いいえ
I 学級経営の評価と改善は必要だと思いますか。	18人	0人
II 学級経営の評価はしていますか。	7人	11人
「いいえ」と答えた先生は、なぜですか。 ・忙しくて時間がない 5人 ・やり方が分からない 3人 ・評価基準がわからない 1人 ・無回答 2人		
III 学級経営の評価を生かして改善をしていますか。	5人	13人

をしていない理由として、「忙しくて時間がない」「やり方がわからない」

などを挙げている。現状として、学級経営の評価は、必ずしも積極的に行われていない。また、評価をしてはいても、それが改善につながっていないと考えられる。これらのことから、学級経営の改善を図るための学級経営評価の手立てを工夫する必要があると考えられる。

(3) 研究の方向性

本研究では、学級経営の評価と改善を学級経営評価シートを活用したチーム検討会（学年教師と授業担当教師などによる話し合い）を通して行う。課題を明確にするために学級経営評価シートを導入し、評価に客観性をもたせる。そして、学級経営の評価要素に関わりの深い教師を評価者として選び、更に生徒と保護者による学級経営の評価結果についてのチーム検討会を行い、成果や課題及び改善策について話し合う。これらの取組を通して、学級経営の改善を図るための学級経営評価の在り方について考察したいと考え、本主題を設定した。

2 研究のねらい

学級経営評価シートとチーム検討会の工夫を通して、学級経営の改善を図るための学級経営評価の在り方を考察する。

3 研究の内容

(1) 基本的な考え方

① 学級経営の評価と改善について

筑波大学准教授の水本徳明氏は、『教育評価辞典』の中で「学級経営の評価とは、学級の諸活動を対象として、児童生徒の生活集団および学習集団としての学級が本来の機能を十分果たしているかを判定し、学級にかかわる問題や課題を明らかにして、学級経営の改善を図る活動である。」と述べている。このことから学級経営の評価と改善は、学級の経営計画に基づき重点項目を設け、それに対する教師の具体的施策を設定し、それらを計画的に評価して改善することであると考えられる。

資料1 学級経営評価計画（一部抜粋）

平成20年度 笠間市立友部中学校		学級経営評価計画			第2学年2組										
本校の教育目標	<input type="checkbox"/> 思いやりの心を持ち、進んで奉仕のできる生徒の育成 <input type="checkbox"/> 自ら学習課題をみつけ、創意工夫する生徒の育成 <input type="checkbox"/> 体力があり、最後までやり遂げる生徒の育成														
生徒の実態	<input type="checkbox"/> 明るく素直である。 <input type="checkbox"/> 学習に真剣に取り組む。 <input type="checkbox"/> 自分の考えを持ち、主張できる力が不十分である。														
学級の目標	<input type="checkbox"/> 生徒一人一人が自他のよさを認められる学級 <input type="checkbox"/> 自ら考え、最後までやり遂げる学級 <input type="checkbox"/> 健康に気をつけ、体力がある学級														
重点項目	評価要素	目指す生徒像	教師の具体的施策	評価スケジュール											
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
生徒指導	基本的な生活習慣	<input type="checkbox"/> 時間が守れる <input type="checkbox"/> しっかりとあいさつができる <input type="checkbox"/> 楽しく生活ができる <input type="checkbox"/> 物事を率先して行える <input type="checkbox"/> きちんとした身だしなみができる	<input type="checkbox"/> 時間前に行動する <input type="checkbox"/> あいさつを率先してする <input type="checkbox"/> 積極的にコミュニケーションをとる <input type="checkbox"/> 生徒とともに活動する <input type="checkbox"/> 身だしなみの点検をする	⇔					⇔						⇔
				4/5月					9/10月						1月

資料1は、学級経営評価計画の一部である。学級経営評価計画は、学校の経営方針を学級経営案に位置付け、それを基に作成する。重点項目は、学習指導、生徒指導、健康指導、環境指導などが考えられる。それぞれの重点項目について、評価要素を設け、目指す生徒像を設定し、そのために教師はどんなことに取り組んでいくかという具体的施策を決め、その取組の評価を定期的実施していく。評価スケジュールは、評価要素により評価時期や評価回数が異なる。

② 学級経営評価シートとチーム検討会について

本研究では、学級の評価をするために学級経営評価シートを作成し、活用する。教師、生徒、保護者が学級経営評価シートを使い、学級の評価を行う。三者が行うことにより、より客観的な評価とする。そして、学級経営評価シートの結果を基に、チーム検討会を行い、学級経営の成果や課題及び改善策を明確にしていく。

(2) 主題に迫るために

図1に示すように、学級経営の改善に向けて学級経営評価の流れを考えた。次の取組を行えば、学級経営の改善ができると思う。

- 学級経営評価シートの作成とチーム検討会の計画
- 学級経営評価シートによる学級の評価
- 学級経営評価シートの結果を分析
- 具体的施策の改善策を立案

① 学級経営評価シートの作成と工夫

資料2は、学級経営評価シート(教師用)で評価要素を基本的な生活習慣として作成したものである。

学級経営評価シートには、評価要素について、目指す生徒像を設け、それらを達成するための教師の具体的施策を設定した。次に目指す生徒像に対する評価項目を設けた。また、数値だけでは見ることができないことを付箋(以後カード)に書いて貼る欄を設けた。

生徒用と保護者用は、教師の具体的施策を省略し、それぞれの立場で答えられるように設問を工夫した。また、学級や生徒の基本的な生活習慣について

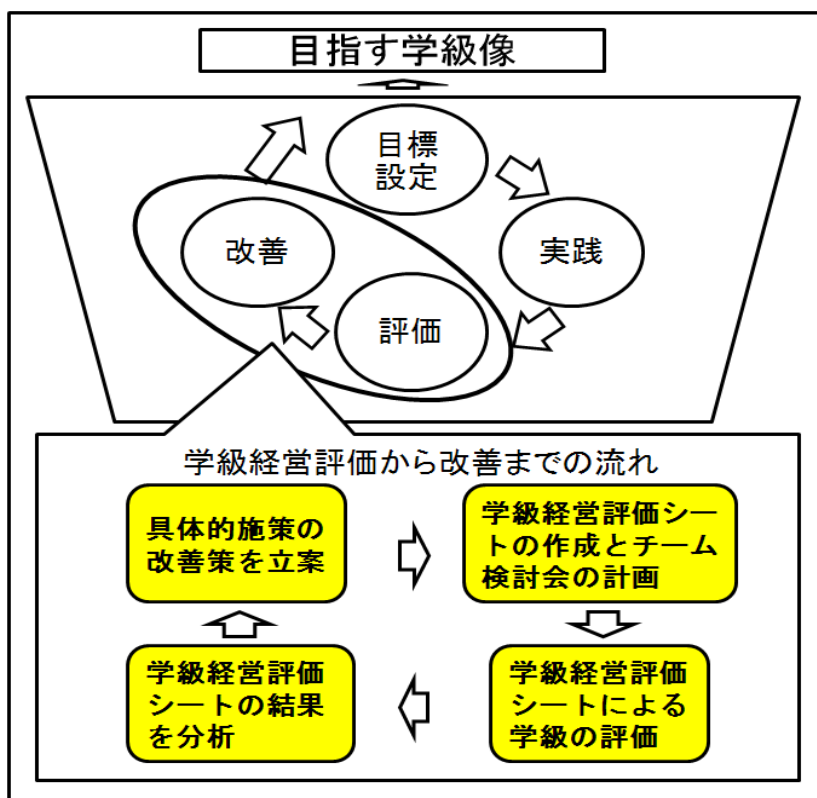


図1 学級経営の改善に向けて

詳しく把握するために、自由記述式の欄を設けた。学級経営評価シートを用いることは、次のような効果が期待できると考える。

- 評価項目を設けることにより、視点が明確になり、成果や課題が見つかりやすくなる。
- 教師、生徒、保護者が学級経営を評価することにより、より客観的な評価が得られる。

② チーム検討会の工夫

チーム検討会では、KJ法的手法を用いたワークショップ型の検討会を取り入れる。

資料3は、チーム検討会の進め方である。このような手順を進めることにより次のような効果が期待できると考える。

- 複数の教師が検討することにより、学級経営の成果や課題及び改善策を客観的に見つけることができ、多様な改善策を立てることができる。
- 参加した教師全員が目標や方向性を共通理解することにより、それぞれの考えが反映された深まりのある話し合いができる。

(3) 研究の実際

① 学級経営評価の実施

資料4にあるような実施計画に基づいて、学級経営評価を行った。チーム検討会を実施する前に、あらか

資料2 学級経営評価シート

(※印は、保護者用に設問を変更したところ)

学級経営評価シート(教師用)					
2学年の先生方へ このアンケートは、よりよい学級にするためのアンケートです。教師、生徒、保護者からのアンケートをもとに、客観的に学級を評価し、改善していきたいと思えます。2組の学級で様子をお答えください。お忙しい中、申し訳ありません。よろしくお願いします。					
氏名				先生	
4 よくあてはまる 3 あてはまる 2 あまりあてはまらない 1 あてはまらない					
番号	評価要素	目指す生徒像	教師の具体的施策	評価項目	評価
1	基本的 生活 習慣	時間が守れる	時間前に行動する	時間通りに登校しているか。	4・3・2・1
2				帰りの会の後、すぐに部活動や下校をしているか。 ※寄り道をしないで家に帰宅していますか。	4・3・2・1
3				時間を守り、チャイム着席を心がけているか。 ※時間を守るように心がけていますか。	4・3・2・1
4		しっかりとあいさつができる	あいさつを率先してする	進んであいさつができていますか。	4・3・2・1
5				言葉遣いが適切にできていますか。	4・3・2・1
6		楽しく生活ができる	積極的にコミュニケーションをとる	明日の予定や1日の反省を生活ノートに記入できているか。	4・3・2・1
7				学校生活を楽しく過ごしているか。	4・3・2・1
8				先生や友達の話をよく聞いているか。 ※人の話をよく聞いていますか。	4・3・2・1
9				友達と仲良く過ごすことができているか。	4・3・2・1
10		物事を率先して行える	生徒とともに活動する	友達と協力して給食の準備や後片付けをしているか。 ※食事の準備や後片付けをしていますか。	4・3・2・1
11				清掃活動に熱心に取り組んでいるか。 ※自分の部屋などの清掃をしていますか。	4・3・2・1
12				清掃用具の後片付けができていますか。 ※使ったものの後片付けをしていますか。	4・3・2・1
13				係の仕事に熱心に取り組んでいるか。 ※家での自分の仕事をしていますか。	4・3・2・1
14		きちんとした身だしなみができる	身だしなみの点検をする	身だしなみ(頭髪、服装など)がきちんとしているか。	4・3・2・1
15				身のまわりの整理、整頓に気をつけているか。	4・3・2・1
何か気づいたことがあったら、記入して貼ってください。					

資料3 チーム検討会の進め方

チーム検討会について		
参観日	10月15日(水)～17日(金)	
検討会	10月21日(火)	
参加者	A 5人(男性教師2人、女性教師2人、養護教諭1人) B 5人(男性教師2人、女性教師3人)	
参観中・参観後にしていただきたいこと		
①学級経営評価シートに評価を記入してください。	黄色のカード(付箋紙)	青色のカード(付箋紙)
②黄色・青色の2色のカード(付箋紙)をお持ちください。	(良かったこと、学んだこと) 例(〇〇先生) どの生徒もあいさつがしっかりとできています。 8時00分	(質問、疑問、アドバイス、改善案) 例(〇〇先生) 給食の準備が遅いので、はやめにとりかかれるように声をかけたい。 12時40分
③どの場面かわかるように、時間の記入をお願いします。		
10月21日(火)のチーム検討会の進め方		
※ チーム検討会の前に、学級経営評価シートの結果をなるべく読んでおいてください。		
0～2分 (2分)	1	学級経営評価シートの結果や他の先生のカードを見る。(個人) ・付け加えたいことがあれば、カードに記入する。
2～4分 (2分)	2	担任から学級の様子を説明をする。(全体) ・よいところ、改善したいところ、話し合っておきたいところなど ・付け加えたいことがあれば、カードに記入する。
4～5分 (1分)	3	担任の話や学級経営評価シートの結果から話し合いのポイントを絞る。(全体) ・担任が話し合っておきたいところと学級経営評価シートの結果が低かったところを中心に話し合う。 ・担任の具体的な施策が有効であるか話し合う。
5～20分 (15分)	4	グループA、Bにわかれて、カードの分類と話し合いをする。(各グループ) ①司会者の右隣から、カードを貼り、その内容について簡単に説明する。 ②続いて右回りに、各人が同じようにカードを貼って、説明をする。 ③カードを貼る位置は、似たものは近くに、違ったものは遠くなるように調整する。 ④貼り終わったら、似たもの同士を囲み、それぞれの囲みにタイトルをつける。 ⑤青色が多かった点について、グループで改善策を話し合っ、ピンクのカードにまとめる。
20～30分 (10分)	5	各グループごとに、カードの分類をもとに話し合われたことを、司会者が短くまとめて発表する。(全体)
30～35分 (5分)	6	学級経営の改善点をまとめる。(個人)
35～40分 (5分)	7	今日の協議を振り返って、評価を記入し成果と課題をまとめる。(個人)

じめ関係資料（実施計画、学級経営評価シート、チーム検討会の進め方）を配付したことで、見通しをもって行うことができ、時間の短縮となった。生徒と保護者には、学級経営評価をする趣旨を理解してもらえるように、文書や口頭で説明を行った。

資料4 学級経営評価シートとチーム検討会による学級経営評価の実実施計画

日程	内容
10月14日(火)	・学級経営評価シートとチーム検討会についての打合せ (第2学年教師と養護教諭)
10月15日(水)	・学級経営評価シートで2組を評価 (第2学年教師と養護教諭, 2組の生徒, 2組の保護者)
10月21日(火)	・学級経営評価シートをもとにチーム検討会 (第2学年教師と養護教諭)
10月24日(金)	・学級経営評価シートのアンケートを実施 (2組の生徒, 2組の保護者)
10月27日(月)	・学級経営評価シートとチーム検討会についての成果と課題についての話合い(第2学年教師と養護教諭)

② 学級経営評価シートの結果

教師は、授業中、休み時間等に学級を参観して、生徒は、自分自身のこと、保護者は、家庭での生徒の様子について、三者がそれぞれの立場で評価を行った。保護者の学級経営評価シートの回収率は90%以上で、学級経営への関心が高いことが分かる。

資料5は、学級経営評価シートの結果である。学級経営評価シートの結果から、項目5, 6, 8, 11, 12で平均評価が低かった。一方、担任は、項目3と項目14に課題があるととらえている。これらの学級経営評価シートの結果を基に、チーム検討会を行った。

③ チーム検討会

資料6は、KJ法的手法を用いたワークショップ型の検討会の結果である。チーム検討会は、A, Bの二つのグループ(各5人)で行った。学年教師以外で学級に関わりの多い養護教諭にもチーム検討会に参加してもらい、より客観的な評価が得られるように

資料5 学級経営評価シートの結果

(□ は評価が低かった項目 ◀ は担任が課題ととらえている項目)

		4 よくあてはまる 3 あてはまる 2 あまりあてはまらない 1 あてはまらない						
番号	評価要素	目指す生徒像	教師の具体的施策	評価項目	教師	生徒	保護者	平均
1	基本的生活習慣	時間が守れる	時間前に行動する	時間通りに登校している。	2.8	3.8	3.8	3.5
2				帰りの会の後、すぐに部活動や下校をしているか。 ※寄り道をしないで家に帰宅していますか。	3.2	3.6	3.9	3.6
3				時間を守り、チャイム着席を心がけているか。 ※時間を守るように心がけていますか。	◀ 2.7	3.8	3.6	3.3
4		しっかりとしたあいさつができる	あいさつを率先してする	進んであいさつができています。	2.8	3.4	3.5	3.2
5				言葉遣いが適切にできています。	2.7	3.4	3.0	3.0
6		楽しく生活ができる	積極的にコミュニケーションをとる	明日の予定や1日の反省を生活のノートに記入できています。	2.6	2.8	2.2	2.5
7				楽しく過ごしている。	3.4	4.2	3.7	3.8
8				先生や友達の話をよく聞いているか。 ※人の話をよく聞いていますか。	2.6	3.4	3.3	3.1
9				友達と仲良く過ごすことができます。	3.4	3.8	3.6	3.6
10		物事を率先して行える	生徒とともに活動する	友達と協力して給食の準備や後片付けをしているか。 ※食事の準備や後片付けをしていますか。	3.4	4.1	2.9	3.5
11				清掃活動に熱心に取り組んでいるか。 ※自分の部屋などの清掃をしていますか。	2.5	3.5	2.6	2.8
12				清掃用具の後片付けができていますか。 ※使ったものの後片付けをしていますか。	2.8	3.7	2.7	3.1
13				係の仕事に熱心に取り組んでいるか。 ※家での自分の仕事をしていますか。	3.2	3.5	3.0	3.2
14		きちんとした身だしなみができる	身だしなみの点検をする	身だしなみ(頭髪、服装など)がきちんとしている。	◀ 3.0	3.4	3.8	3.4
15				身のまわりの整理、整頓に気をつけている。	3.1	3.6	2.8	3.2
		成 果		課 題				
教師の意見		<ul style="list-style-type: none"> ○給食の準備、後片づけが早い。○よくあいさつができる。 ○男女の別なく、誰とも仲良く話している様子がある。 ○チャイム着席を心がけている生徒が多い。 ○SHRの私語が少ない。○多くの生徒が楽しく生活している。 ○自分のペースで学習活動に参加している。 ○欠席者のノートづくりに取り組んでいる。 ○生徒の個性を生かして活動している。 ○互いに教え合い励まし合うことができている。 		<ul style="list-style-type: none"> ●8時10分の着席ができない生徒が固定化している。 ●一部の生徒が態度や言葉遣いが悪い。 ●集力が長く続かない。●あいさつ、ルールにルーズ ●教卓周辺のものが雑然としている。 ●自習の時、座席を交換している生徒がいる。 				
生徒の意見		<ul style="list-style-type: none"> ○毎日楽しく過ごしている。 ○明るい、面白い。 ○自分は、まあまあ良くできている。 		<ul style="list-style-type: none"> ●時間通りに登校したい。●生活ノートをもっと書くようにしたい。 ●毎日の生活の見直しができる。 ●人の話をもっと聞こうと思った。 ●清掃活動は、もっとちゃんとやりたい。 ●チャイム着席があまりできていない。 ●整理、整頓ができていなかった。 ●すぐに直せるところは、直そうと思った。 ●これからは、あいさつを進んでほしい。 				
保護者の意見		<ul style="list-style-type: none"> ○部活動や家の手伝いをよくやっている。 ○規則正しい生活ができていると思います。 ○家より学校のほうが良くやっている。 ○学校へ行く様子を見ては、安心して送り出している。 		<ul style="list-style-type: none"> ●生活ノートをちゃんと書いてほしい。●生活が乱れている。 ●やるべきことができなくなってきた。 ●これからは子どもに部屋の掃除をさせたいと思います。 ●家にいるとリラックスしすぎていて、時間の使い方がルーズ。 ●注意すると素直に聞かない。●学校での出来事を話さない。 ●自分から進んで行動してほしい。●言葉遣いが悪い。 				

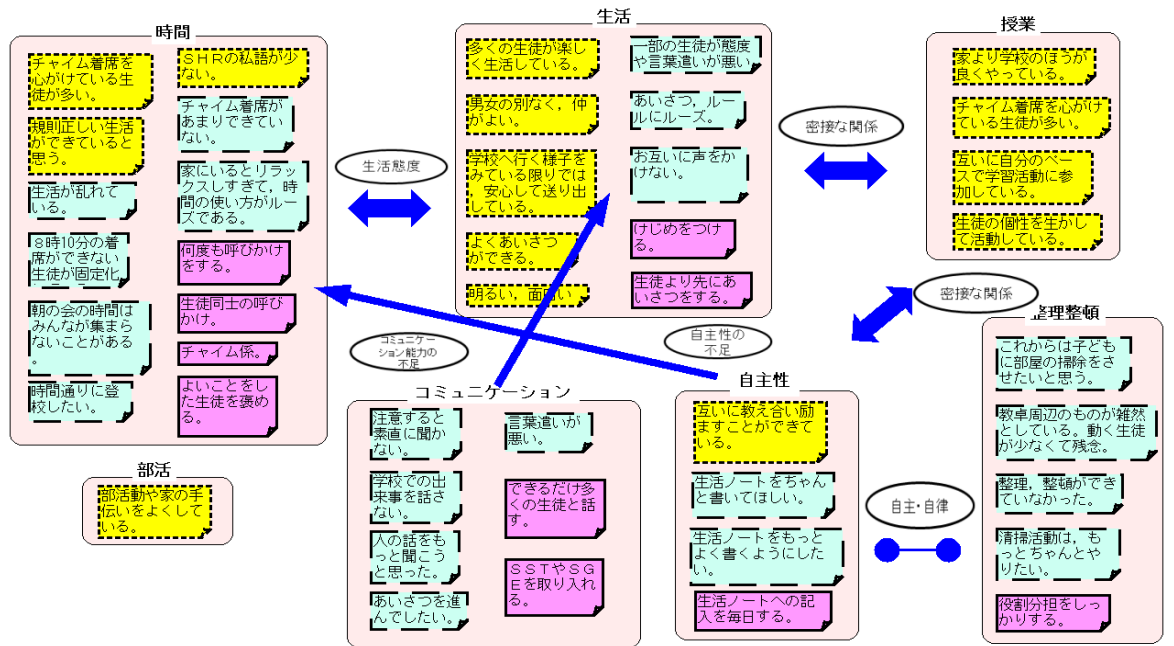
した。そして、評価が低かった項目と担任が課題としている項目の両方について、具体的施策の成果や課題及び改善策を中心に話し合った。

資料6 KJ法的手法を用いたワークショップ型の検討会の結果

(平成20.10.21実施 第2学年教師9人、養護教諭1人)

期日	10月21日(火)	評価要素	基本的生活習慣
メンバー	Aグループ：5人 Bグループ：5人		

第2学年2組学級経営の改善Bグループ



- 黄色** 黄色のカード・・・よかったこと、学んだこと
 - 青色** 青色のカード・・・質問、疑問、アドバイス、改善案
 - ピンク色** ピンク色のカード・・・改善策
- 相互影響
 類似
 原因と結果

	P (計画)	D (実行)	C (評価)		A (改善)
	目指す生徒	教師の具体的施策	成果	課題	具体的施策の主な改善策
具体的施策に対する改善策	・時間が守れる。	・時間前に行動する。	○私語が少ない。 ○規則正しい生活ができています。 ○チャイム着席を心がけている生徒が多い。	●チャイム着席があまりできていない。 ●8時10分の着席ができていない。	・短学活で、何度も繰り返し呼びかけをする。
	・しっかりとしたあいさつができる。	・あいさつを率先してする。	○よくあいさつができる。	●あいさつ、ルールにルール。 ●一部の生徒の態度や言葉遣いが悪い。 ●お互いに声をかけない。	・毎朝、教室で生徒を迎え、あいさつをする。
	・楽しく生活ができる。	・積極的にコミュニケーションをとる。	○多くの生徒が楽しく生活している。 ○男女の仲がよい。	●生活ノートをもっとよく書くようにしたい。 ●学校での出来事を話さない。	・生活ノートへの記入を毎日する。 ・休み時間等に、できるだけ多くの生徒と話す。
	・物事を率先して行える。	・生徒とともに活動する。	○互いに教え合い励まし合うことができています。	●子どもに部屋の掃除をさせたいと思う。 ●清掃活動は、ちゃんとやりたい。	・一人一人の役割分担をしっかりと決める。
	・きちんとした身だしなみができる。	・身だしなみの点検をする。		●整理、整頓ができていない。 ●やるべきことができなくなってきた。	・短学活で、よいことをした生徒を褒める。

(4) 分析と考察

① 学級経営評価シート

ア 学級経営評価シートの考察

表2は、学級経営評価シートに関する意識調査の結果である。質問Ⅰに対して、参加した全員の教師が「とても効果がある」「効果がある」と答えた。また、質問Ⅱから、学級経営評価シートを用いて評価することは、評価がしやすく、学級経営の課題を見つけることができると考えられる。

表2 学級経営評価シートの意識調査

(平成20.10.21と10.27実施 第2学年教師9人、養護教諭1人)

Ⅰ 学級経営評価シートを用いて評価することはどうでしたか。			
とても効果がある	効果がある	あまり効果がない	効果がない
5人	5人	0人	0人

Ⅱ 効果がある理由は何だと思えますか。
<ul style="list-style-type: none">○ 客観的に学級の現状を見ることができる。○ 新たな見方を見つけることができる。○ 項目があると何を評価してよいか分かる。○ 自分の見方で何を重視し、何を軽く見ているか確認できた。○ 自分自身の動きの振り返りができる。○ 教師、生徒、保護者の意識が分かった。○ 課題を明確にできる。

資料7、8は学級経営評価シートの結果を見ながら書いた生徒と保護者の意見である。生徒は、自分たちの評価と教師や親の評価に差があること、自分たちの普段の学校生活を振り返ることができたこと、などを述べている。また、保護者は、生徒たちの家庭と学校での生活の様子がどのくらい違うのかわかったこと、学級経営評価シートを定期的に行って欲しいこと、などを述べている。これらの意見から学級経営評価シートは、教師、生徒、保護者のそれぞれの立場の意見を客観的にとらえることができると考えられる。

資料7 生徒の意見

自分達(生徒)は、できているだろう。と思っていても、先生方や、両親は、あまりできていないんじゃないか。と思われている点がいくつかあるなと感じました。

資料8 保護者の意見

毎日の生活の中で、ごくごく当たり前ですが、子供達の家庭での行動と学校での行動がどの様に違うのか。又、先生方から見ると子供達の評価がわかり良かったと思います。

基本的な生活について、日頃の生活態度を振り返る。お内容だと思ふ。
生徒自身も、反省点等見出している。お方向に成長して行くと願っています。

イ 学級経営評価シートの修正

資料9は、学級経営評価シートを修正したものである。学級経営評価シートに関する教師の意見は、「担任以外の教師でも評価ができる評価項目がよい。」「授業を教えていないと全部の項目が見られない。」などであった。それらの意見を参考にして、次のように評価項目を修正した。

本校の生徒は、学年集会などに、生活ノートを持参する。そこで、担任しか評価することができない評価項目の「明日の予定や1日の反省を生活ノートに記入できているか。」に対しては、担任以外の教師でも評価をすることができる評価項目の「生活ノートを活用しているか。」に修正した。

また、清掃場所の担当教師しか評価することができない評価項目の「清掃用具の後片付けができているか。」に対しては、担任以外の教師でも評価をすることができる評価項目の「使ったものの後片付けができているか。」に修正した。

資料9 学級経営評価シートの修正

教師の意見		修正ポイント	
<ul style="list-style-type: none"> ・担任以外の教師でも評価ができる項目がよい。 ・授業を教えていないと全部の項目が見られない。 		<ul style="list-style-type: none"> ・担任以外の教師が評価できる評価項目とした。 「明日の予定や1日の反省を生活ノートに記入できているか。」 →<u>生活ノートを活用しているか。</u>」「清掃用具の後片付けができているか。」 →<u>使ったものの後片付けができているか。</u>」 	

学級経営評価シート(教師用)					氏名	先生
4 よくあてはまる 3 あてはまる 2 あまりあてはまらない 1 あてはまらない						
評価要素	番号	目指す生徒	教師の具体的施策	評価項目		評価
基本的 生活 習慣	1	時間が守れる	時間前に行動する	時間通りに登校しているか。		4・3・2・1
	2			帰りの会の後、すぐに部活動や下校をしているか。		4・3・2・1
	3			時間を守り、チャイム着席を心がけているか。		4・3・2・1
	4	しっかりとあいさつができる	あいさつを率先化する	進んであいさつができているか。		4・3・2・1
	5			言葉遣い▼が適切にできているか。		4・3・2・1
	6	楽しく生活ができる	積極的にコミュニケーションをとる	生活ノートを活用しているか。		4・3・2・1
	7			楽しく過ごしているか。		4・3・2・1
	8			先生や友達の話をよく聞いているか。		4・3・2・1
	9			友達と仲良く過ごすことができているか。		4・3・2・1
	10	物事を率先して行える	生徒とともに活動する	友達と協力して給食の準備や後片付けをしているか。		4・3・2・1
	11			清掃活動に熱心に取り組んでいるか。▼		4・3・2・1
	12			使ったものの後片付けができているか。		4・3・2・1
	13			係の仕事に熱心に取り組んでいるか。		4・3・2・1
	14	きちんとした身だしなみができる	身だしなみの点検をする	身だしなみ(頭髪、服装など)がきちんとしているか。		4・3・2・1
	15			身のまわりの整理、整頓に気をつけているか。		4・3・2・1

② チーム検討会

ア チーム検討会の考察

表3は、チーム検討会に関する意識調査である。質問Ⅰに対して、全員の教師が「とても効果がある」「効果がある」と答えた。質問Ⅱから、チーム検討会は、複数の教師が検討することで、より多様な改善策を立てることができると考えられる。また、参加した教師全員が目標や方向性を共通理解し、それぞれの考えが反映され、深まりのある話し合いになると考えられる。

表3 チーム検討会の意識調査

(平成20.10.21と10.27実施 第2学年教師9人, 養護教諭1人)

I K J 法的手法を用いたワークショップ型の検討会はどうでしたか。			
とても効果がある	効果がある	あまり効果がない	効果がない
6人	4人	0人	0人
II 効果がある理由は何だと思えますか。			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分では考えられないような改善策などがあってなるほどと思った。 ○ 自分の考えと他者の考えがよりよく練られる。 ○ 周りの先生とのコミュニケーションがアップする。 ○ よいところと改善点が明確で、系統別に考えることができる。 ○ 相関関係を示すことで、何が原因なのか分かる。 ○ 忘れそうなことでもカードに記入しているのでよい。 ○ カードの色分けで、話し合いもしやすい。 			

イ チーム検討会の進め方の修正

資料10は、チーム検討会の進め方を修正したものである。チーム検討会に関する教師の意見は、「時間の短縮が必要である。」「視点や課題が広がらないように、話し合う内容を焦点化する。」などであった。それらの意見を参考にし、次のように内容を修正した。

チーム検討会では、カードの分類、タイトル付け、改善策の立案に視点が広がりすぎ、多くの時間がかかりすぎた。そこで、視点を明確にして、時間を短縮するために、話し合う内容を「カードの分類と話し合いをする。」から「学級経営評価シートの結果が低かった項目を中心にカードの分類と話し合いをする。」に修正した。

資料10 チーム検討会の進め方の修正

<p>教師の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間の短縮が必要である。 ・視点や課題が広がらないように、話し合う内容を焦点化する。 		<p>修正ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級経営評価シートの結果が低かった項目の具体的施策の改善策を中心に話し合いをする。(カードの分類と話し合いをする。→<u>学級経営評価シートの結果が低かった項目を中心にカードの分類と話し合いをする。</u>)
<p>月 日()のチーム検討会の進め方</p> <p>※ チーム検討会の前に、学級経営評価シートの結果をなるべく読んでおいてください。</p>		
0~2分 (2分)	1	学級経営評価シートの結果や他の先生のカードを見る。(個人) ・付け加えたいことがあれば、カードに記入する。
2~20分 (18分)	2	グループA, Bにわかれて、学級経営評価シートの結果が低かった項目を中心にカードの分類と話し合いをする。(各グループ) ①司会者の右隣から、カードを貼り、その内容について簡単に説明する。 ②続いて右回りに、各人が同じようにカードを貼って、説明をする。 ③カードを貼る位置は、似たものは近くに、違ったものは遠くなるように調整する。 ④貼り終わったら、似たもの同士を囲み、それぞれの囲みにタイトルをつける。 ⑤学級経営評価シートの結果が低かった項目の具体的な施策について、グループで改善策を話し合っ、ピンクのカードにまとめる。
20~30分 (10分)	3	各グループごとに、カードの分類をもとに話し合われたことを、司会者が短くまとめて発表する。(全体)
30~40分 (10分)	4	学級経営の改善点をまとめる。今日の協議を振り返って、評価を記入し成果や課題及び改善策をまとめる。(個人)

4 研究のまとめ

(1) 学級経営評価シートの作成と活用について

- ① 目指す生徒像を基に評価項目を設けることにより、視点が明確になり、学級経営を評価しやすくなる。
- ② 学級経営評価シートを活用することにより、教師、生徒、保護者のそれぞれの立場から、客観的な評価を得ることができ、チーム検討会で教師の具体的施策の改善策を練りやすくなる。

(2) チーム検討会について

- ① 複数の教師が検討することにより、学級経営の成果や課題及び改善策についての意見が出やすくなる。
- ② ワークショップ型の検討会は、参加した教師が目標や方向性を共通理解する上で効果的である。その際に、学級経営評価シートを使うと、課題が明確になり、改善策を探る上で深まりのある話し合いとなる。

5 今後の課題

- (1) 学級経営の評価と改善の実践をしやすくするために、目指す学級の姿を明確にもち、評価項目の具体化、改善策の具体化をしていく必要がある。
- (2) 本研究の取組を継続的に行うことと、学級経営評価シートのそれぞれの評価基準を設け、より使いやすいものとして改善をしていく必要がある。
- (3) 本研究の取組を学級経営の年間計画に位置付けをしていきたい。

〈主な参考文献〉

- 高旗正人著「学級経営 重要用語300の基礎知識」明治図書 平成12年 6月
- 有村久春著「学級経営 実践チェックリスト」教育開発研究所 平成16年 3月
- 北尾倫彦著「教育評価辞典」図書文化 平成18年 6月
- 木岡一明著「学年・学級の指導点検とカリキュラム開発」教育開発研究所 平成16年 3月
- 村川雅弘著「ワークショップ型研修の手引き」ジャストシステム 平成18年 7月
- 小島 宏著「新編 学級経営読本」教育開発研究所 平成20年 4月
- 八尾 修著「これからの学校と”評価力”の向上」教育開発研究所 平成18年 1月